

二酸化炭素（CO₂）排出量の状況

1 環境目標

自動車からの二酸化炭素排出量を平成17年度の排出量から10%以上削減する。

2 排出量の算定（確定値）

県内におけるCO₂排出量は、「宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（平成26年1月策定）の進行管理として算出している。

自動車CO₂排出量は、県内のガソリン・軽油の販売実績，オートガス移出数量に単位発熱量と排出係数を乗じて算定している。（ガソリン，軽油に関しては各燃料使用における自動車使用率（全国）を乗じている）

<自動車からのCO₂排出量〔確定値〕の算出>

県内ガソリン消費量※×ガソリン使用・自動車使用率（全国）×単位発熱量×排出係数…①

県内軽油販売消費量※×軽油使用・自動車使用率（全国）×単位発熱量×排出係数…②

県内オートガス移出数量※×単位発熱量×排出係数…③

→上記①から③の和＝県内自動車からのCO₂排出量〔確定値〕（t）

※ガソリン（軽油）販売量から他部門での消費量を減じた量

3 暫定排出量の算定

「自動車交通環境負荷低減計画」においては、ガソリン・軽油の販売実績から、自動車CO₂排出量を暫定値として算出している。

※ 県内における各販売量のうち、ガソリンではほぼ全量、軽油では8割強が自動車により消費されている。

※ オートガスが自動車CO₂排出量に占める割合は、1～2%程度である。

<自動車からのCO₂排出量〔暫定値〕の算出>

県内ガソリン販売実績×単位発熱量×排出係数…①

県内軽油販売実績×単位発熱量×排出係数…②

→上記①と②の和＝県内自動車からのCO₂排出量〔暫定値〕（t）

4 自動車CO₂排出量の推移

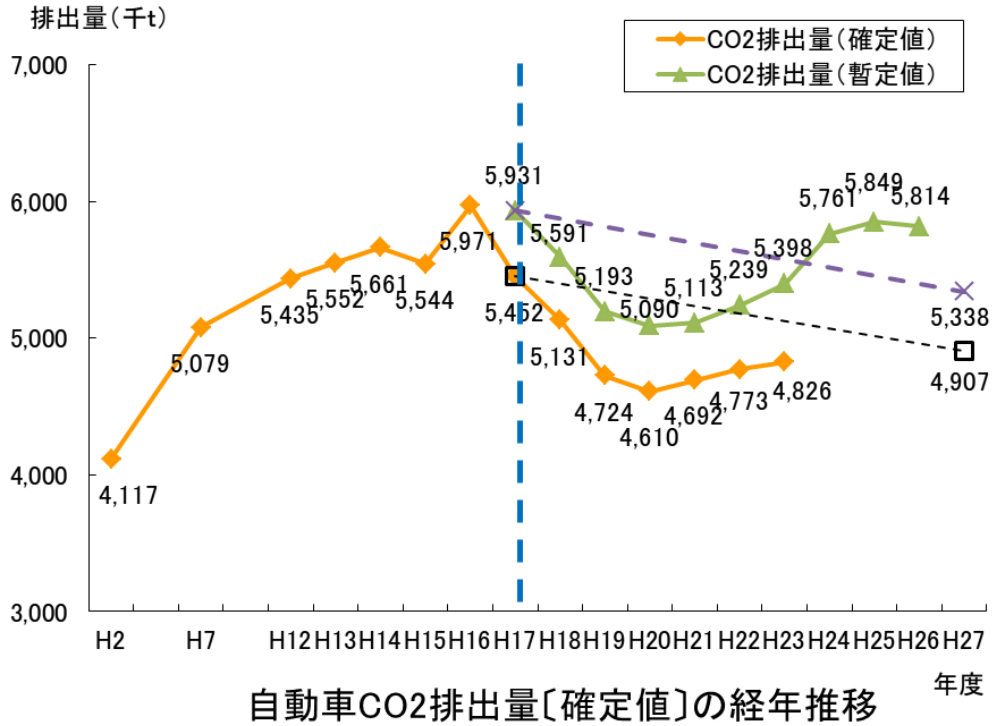
確定値については、平成23年度分までが算出されており、4,826千tであった。

暫定値については、平成26年度は5,814千tであり、平成26年度末で平成17年度暫定値5,931千tから116千t（2.0%）削減したが、排出量が最小だった平成20年度より724千t増加した。

項目 \ 年度	平成17年度 (基準年度) 基準値	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27年度 (目標年度) 目標値
自動車からのCO ₂ 排出量(千t)	5452 (5,931)	5,131 (5,591)	4,724 (5,193)	4,610 (5,090)	4,692 (5,113)	4,773 (5,239)	4,826 (5,398)	未確定 (5,761)	未確定 (5,849)	未確定 (5,814)	4,907 (5,338)
H17年度からの削減量(千t)	—	321 (339)	728 (738)	842 (840)	760 (818)	679 (692)	626 (533)	未確定 (170)	未確定 (82)	未確定 (116)	(593)
H17年度からの削減率(%)	—	5.9% (5.7%)	14.2% (12.4%)	17.8% (14.2%)	16.5% (13.8%)	14.5% (11.7%)	13.1% (9.0%)	未確定 (2.9%)	未確定 (1.4%)	未確定 (2.0%)	(10.0%)

上段：確定値

下段：暫定値…ガソリン，軽油の販売実績から算出したもの。



(参考) ガソリン・軽油の販売実績の推移

平成26年度の県内におけるガソリンの販売実績は1,301千KLと平成17年度よりも124千KL (8.7%) 減少した。

軽油の販売実績については1,028千KLと平成17年度よりも67千KL (7.0%) 増加し、最小だった平成21年度より255千KL増加した。

項目 \ 年度	平成17年度 (基準年度)	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
ガソリン販売量 (千KL)	1,425	1,333	1,253	1,242	1,311	1,323	1,272	1,340	1,323	1,301
	—	(▲92)	(▲80)	(▲11)	69	12	(▲51)	68	(▲17)	(▲22)
軽油販売量 (千KL)	961	914	836	808	753	790	896	973	1,021	1,028
	—	(▲47)	(▲78)	(▲28)	(▲55)	37	(▲94)	77	48	7

上段: 販売量実績

下段: H17年度との比較

